

中学校 学級活動における学習指導例

○主題名「自他の個性の理解と尊重，よりよい人間関係の形成」（２）－ア

※「児童の権利に関する条約」に示された自分や他者に保障されている権利について、事前に関連する教科等で指導しておく。

○本時のねらい

- ◇ DVDアニメ「めぐみ」の視聴を通して、「児童の権利に関する条約」に示された権利や基本的自由が侵害されていることに気づき、人権の大切さを理解する。
- ◇ 自分たちの学級・学校生活に目を向けて、互いの人権を尊重して生活することの大切さに気付くとともに、これからの自分が取り組むことを決める。

| 過程 | 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|-----|---|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ○事前指導を踏まえ、子供の権利や憲法が保障している基本的人権について振り返る。 ○学級・学校生活ではどんなことが関係するか話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○事前指導で扱った以下の権利を確認する。 ・生きる権利 ・守られる権利 ・精神的自由 ・経済的自由 ・育つ権利 ・参加する権利 ・人身の自由 |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○DVDアニメ「めぐみ」を視聴する。 ○アニメの中のいくつかの場面について両親の気持ちを考え、学級全体で話し合う。 ・めぐみさんの誕生の場面 ・めぐみさんを見送る場面 ・めぐみさんがいなくなった場面 ・街頭で救出を呼びかける場面 ○互いの権利を尊重し協力してよりよい学級生活をつくるためにはどんなことに気を付けたらよいか話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの場面における両親の行動や予想される気持ちについて発表し合い、自分たちの生活における権利についても考えることで、人権の大切さについて自分事として考えることができるようにする。 ・家族と一緒に暮らす権利 ・自分の国で生活する権利 ・たくさん勉強できる権利 ・他の国にいる親と会える権利 ・表現の自由など、自分たちの生活に関わる権利について、気付くことができるようにする。 ○話し合う中で、自分たちにある権利が、めぐみさんには保障されていないことにも触れ、よりよい学級・学校生活をつくるためには、互いに人として尊重し合うことが大切であることに気付くことができるようにする。 |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ○話し合ったことをもとに、学級・学校生活で、これから自分が気を付けることや取り組むことを一人一人が意思決定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇【評価】 学級・学校生活において人権を大切にして生活する上で、これからどんなことに気を付けて行動するかを意思決定する。 |

※生徒の発達の段階を考慮して、学級活動の時間だけでなく、各教科等と関連させて取り組むようにする。

※指導者は事前にDVDアニメ「めぐみ」を視聴し、学級活動のねらいが達成できるように、場面提示や話し合いを焦点化するなど工夫した取組を進める。